

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和東高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「学力の向上と部活動の充実」という明確な文言を掲げ、学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じたものであり、生徒・保護者・地域の期待に十分応える適切なものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえた重点目標が設定され、学校の取り組むべき課題が示されている。目指す学校像の実現に向けて、生徒の学力や進路の実態など学校の状況を踏まえた目標となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。部活動が核となって学校全体が活性化し、その波及効果によって学習面や生活面において模範的な文化が醸成されている。組織体として目標達成に向けた共通理解を行い、連携を強化しながら教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価運営委員会で学校全体のシートの評価項目等を設定し、その達成に向けた具体的な方策は分掌・学年等での議論を基に策定している。学校全体の目標と分掌・学年・教科の目標を、分掌等のシートの書式を工夫することにより、更に有機的に結びつけて学校全体で組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織力を高めようとしている校長の意欲が感じられる。校長の的確なリーダーシップの下、学校自己評価システムを活用して教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者・教員を対象としたアンケートを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケート結果や学校関係者の意見等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを行うなど、次年度のより具体的な取組につなげ、学校の強みを生かしながら更に組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			